



3級 第8回

文章の流れ（2）



一般社団法人

日本ビジネス要約協会

Japan Business Digest Association

文章の流れ(2)

■説明

では、続いて段落内の文章の流れを読み解くポイントの2つ目を説明していきます。

<段落内の文章の流れを読み解くポイント②>

前回のように、接続詞がある場合は文と文の結びつきを掴むことが比較的容易です。しかし、接続詞がない場合もよくありますよね。そういうときは、どうすればいいでしょうか？

では、例を見てみましょう。

今では、新潟県の人口は東京都の約6分の1しかいない。若い人が地方から大都市圏に移り住む流れが続いているのだ。大都市圏はもう少しゆったりし、地方はもう少し賑やかになった方がいい。

この段落内の文章を、前回同様「原因（理由）」と「結果（結論）」に分けていきましょう。まず、「結果（結論）」から先に押さえていきますね。

結果(結論): 大都市圏はもう少しゆったりし、地方はもう少し賑やかになった方がいい。

原因(理由): 今では、新潟県の人口は東京都の約6分の1しかいない。若い人が地方から大都市圏に移り住む流れが続いているのだ。

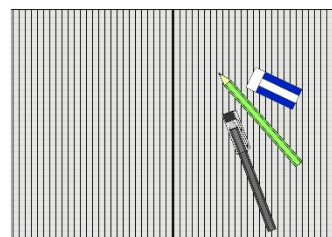
さて、今回結果（結論）はどれか、読み取りやすかったですね。「結果（結論）」とは「筆者の主張」です。筆者の主張は、第2回にもありました「シンデレラエクスプレス手法」を使うとすぐに分かります。

では次に、「結論」の原因（理由）について説明します。今回は原因（理由）も、比較的読み取りやすかったと思います。では、なぜ「この一文が原因（理由）だ！」と、読み解くことができたのでしょうか？実は、無意識に「隠れた接続詞」を見出しているためです。今回であれば、「今では、新潟県の人口は東京都の約6分の1しかいない。若い人が地方から大都市圏に移り住む流れが続いているのだ。**(だから)** 大都市圏はもう少しゆったり

し、地方はもう少し賑やかになった方がいい。」のように、無意識に心の中で「だから」
を付け加えて読んでいるのですね。

これを、無意識ではなく意識してやってみましょう。そうすれば、文章の流れを読み解く
手順を自分の「型」として確立することができます。

**ポイントその2：接続詞がない場合は、まず結論文を見つけ出し、結論文と「だから」
でつながる文章を探そう！**



■例題と解説

では、例題として以下の文章を確認しましょう。

（安倍晋三首相が消費税率 10%への引き上げを再び先送りすることを決断したことを受けて）

▼首相は消費増税の先送りを前回表明したとき「再び延期することはない」と断言した。それを翻す形になっただけに、今後、自らの発言が金融市場などから疑いの目で受け止められかねないだろう。決断の「断」という字は、織機にかけた糸をおので2つに断ち切る形を表している。疑念をきっぱり断てるだろうか。

（2016/5/3 付日本経済新聞 朝刊）

では、この段落を原因と結果に分けていきましょう。まず、筆者の思いがこもった一文は「（市場の）疑念をきっぱり断てるだろうか。」ですから、これが結果（結論）ですね。次に、なぜこの結果（結論）に至ったか、その理由を探していきましょう。筆者が「疑念をきっぱり断てるだろうか。」と不安に思う理由は、「首相は消費増税の先送りを前回表明したとき『再び延期することはない』と断言した。（にもかかわらず）それを翻す形になった。」からですね。よって、この2つは「だから」を付け加えてつなげることが可能です。

結果（結論）：（今後、自らの発言が金融市場などから疑いの目で受け止められかねないだろうが）疑念をきっぱり断てるだろうか。

原因（理由）：首相は消費増税の先送りを前回表明したとき「再び延期することはない」と断言した。（にもかかわらず）それを翻す形になった。

いかがでしょうか。これで随分、文章の流れを掴みやすくなりましたね。

補足をすると、今回は原因（理由）の文中に「にもかかわらず」という逆接の接続詞も隠れていました。これも心の中で付け加えた方が、文章の流れを読み取りやすくなりましたね。

今後も隠れた接続詞を見つけ出して、付け加える訓練を積み重ねていきましょう！

■ 今回の課題

以下の春秋の「主張文」をまず特定し、主張に至った理由・背景にあたる文章を抜き出しましょう。

▼イスラムの世界はいま日の出から日没までの間、飲食を断つラマダンの期間に入っている。先日、東京都内のモスクを訪ねると、日没後にとる食事の準備が始まっていた。食材の香りや食器の音がする。抱いていた「修行」のイメージとは違い、明るい雰囲気を感じた。

▼礼拝にはビジネスマンや留学生など様々な人たちが集まってくる。1日5回のお祈りは大変ではと思っていたが、「体のために1日3回の食事をします。心のための1日5回の礼拝も同じ」とのことだった。小学校帰りの兄弟と思われる幼い子どもが2人やって来て、兄が弟にお手本を示しながら礼拝の作法を教えていた。

▼過激派組織「イスラム国」(IS)はラマダン期間中のテロを呼び掛けているという。昨年この時期にテロが相次ぎ、今年も米国でISの影響を受けたとされる男による銃の乱射事件が起きたばかりだ。詳細はなお不明だが、事件の本質は、暴力を用い問答無用で自分の主張を押しつける身勝手な姿勢にあるように思う。

▼モスクの男性に問うと、「テロは間違っている。戦い、克服すべき相手は我欲」との答えが返ってきた。相手の立場を理解しようとせず、力づくで封じ込めるような土壌が日本でも広がってはいないか。「異文化」だと思っても実際に触れ、話を聞けば「なるほど」とうなずくことは少なくない。努力を怠ってはなるまい。

(2016/6/21 付日本経済新聞 朝刊)

■前回の課題の解答

<問題再掲>

以下の春秋の「接続詞」に着目し、主張を「因果関係」を意識して一文で形成してください。

▼小さな星の 小さな光が ささやかな幸せを……。坂本九さんが歌って大ヒットした「見上げてごらん夜の星を」は、もともと同名のミュージカルの主題歌だった。後に坂本さんの主演で映画にもなり、主人公と同じ境遇の夜学生たちに元気を送った、と伝えられる。

▼梅雨の到来で今後は機会も限られそうだが、このところ晴れた夜空を見上げるとすぐに目につく星がある。鮮やかなまでに赤い色をまとった火星だ。坂本さんがやさしく歌い上げた「ささやかな幸せ」には少々そぐわないかもしれないけれど、何とも印象深い星ではある。実際、世界各地の神話や伝説などに登場してきた。

▼科学技術が飛躍した19世紀からは、とりわけSF的な想像力を刺激してきた印象がある。ウェルズが描いてみせた火星人の襲来はさすがに古びたが、話題を呼んだ火星SFは近年もなお少なくない。ひとり取り残された地球人が火星でサバイバルに挑んだり、地球で嫌われ者の昆虫を送り込んで環境を改造しようとしたり。

▼SFの世界ではよくあることだが、想像が現実になる可能性も視野に入ってきた。米国のベンチャー企業スペースXが、2024年をメドに有人宇宙船を火星に飛ばすという。地球に最も近づいたときでさえ月よりおよそ200倍も遠い星への旅。夜空を見上げて抱く感傷もいいけれど、8年後を思うわくわくも悪くない。

(2016/6/7 付日本経済新聞 朝刊)

今回、筆者が最も伝えたかったこと<主張>は、「8年後を思うわくわくも悪くない。」でした。そして、その前後にある接続詞は、主張の丁度前にある「(感傷もいい)けれど」ですね。従って、今回の解答である因果関係を意識した主張文は、「夜空を見上げて抱く感傷もいいけれど、8年後を思うわくわくも悪くない。」となります。本来は、「夜空を見上げて抱く感傷」「8年後を思うわくわく」という言葉が抽象的すぎるので、これらは具体化した方がする必要があります。とはいえ、具体化についてはまた別の回で学びますので、その回に預けることにします。実際、具体化した場合の主張は「夜空を見上げ遠い火星への感傷もいいが、有人宇宙船を飛ばす8年後への期待も悪くない。」でした。ご参考まで。